

# ともだちのわ

T O M O D A C H I N O W A



認定こども園 千葉さざなみ幼稚園



花水木幼稚園



認定こども園 高浜幼稚園



荒幼稚園

## Contents

- P02 巻頭言 由田 新(千葉明德短期大学学長)
- P03 特集 子どもの心の動きをキャッチする  
(株)ジャクパ 体育事業部 千葉エリア方面部長 森田 篤史
- P04 千葉市食育のつどい
- P05 千葉市幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて
- P08 幼稚園&こども園フェア2026
- P09 親子教室
- P10 給食だいすき (株)幼稚園給食 取締役副社長 島瀬 悠基
- P11 保育室の窓から
- P12 千葉市幼稚園協会からお知らせ、編集後記



# 巻頭言 保育者のなり手がいない!



千葉明德短期大学 学長  
よしだ あらた  
由田 新

日頃は、実習をはじめ、保育者養成教育にご協力いただき感謝いたします。そして学生たちの就職先としても大変お世話になっております。重ねてお礼申し上げます。

と言いつつも、各園の皆さまのご希望に十分に  
応えられていない状況が、養成校にはあります。

幼稚園の皆さまからは、学生は保育所へ就職して  
しまうのではないかという話をいただきます。しかし、  
保育所の方からも施設の方からも「学生が採れ  
ない」という声をいただいています。学生たちはどこ  
へ消えてしまったのでしょうか？

実は、ここには深刻な問題があります。ここ数年、保  
育者養成校への入学者が大幅に減っているのです。  
単純に少子化だからということではありません。希望  
者がそれ以上に減っているという現実があります。

私学共済の調査によりますと、短期大学の場合、10  
年前の全国での保育系学科の入学者数は2万人を  
超えています。しかし、令和7年度では9000人程度  
に減っています。なんと、半分以上になっているの  
です。

「大人になったらなりたいもの」というある保険会  
社の調査がありますが、小学生女子のなりたい職業  
として「幼稚園の先生・保育士」は1989年の調査開  
始から長きにわたりトップ3に入っていました。しか  
し、2022年から下降気味となり、2024年では10位以

下となってしまいました。

保育者養成協議会という養成校の団体がありま  
すが、2020年にすでに「保育士の魅力向上」という  
テーマが、委員会の研究課題となっており、ここにも  
危機感が感じられます。

保育者の処遇はだいぶよくなりましたが、まだま  
だ、世間では「割に合わない」と言われ、ニュースを  
みても仕事の大変さばかりが取り沙汰されます。楽  
しい面もたくさんあるのにも関わらず、そういうこと  
はなかなか扱われません。

このように、保育者のなり手がいないという大き  
な問題が、数年のうちに目に見える形で現れてくる  
でしょう。幼稚園、保育所が立ちいかなければ、社  
会が困ります。

私たちにできることは何なのか。まずは、小中高  
生に保育の魅力、楽しさを発信していくことがあり  
ます。

養成校は養成校で、高校生の目が保育の方へ向  
くように、保育体験を企画したり、さまざまな取り組  
みをしています。幼稚園の協会でも、保育ボランティ  
アの受け入れをどんどんしていこうという動きがあ  
ります。もちろん、保育所の協会でも同様です。保育  
に関わる者一人ひとりが、自覚を持ち、園への参加  
者に丁寧に関わっていく必要があるでしょう。

そして、養成校・幼稚園・保育所がバラバラに動く  
のではなく、自治体も含めて「保育業界」として、保  
育の魅力をうまく伝えていく取り組みをしていかな  
ければならない段階にきているのではないかと思  
います。保育関係団体が一緒になって行政にアプ  
ローチすることも必要です。

また、少ないなり手の中から保育者になった新人  
を辞めないように支え、育てていくことも大切なこと  
です。保育者を育てることは、保育の質を上げること  
につながります。養成校側も一緒にできること、支援  
できることをしていきたいと考えます。

# 特集 子どもの心の動きをキャッチする

株式会社ジャクパ 体育事業部 千葉エリア方面部長 森田 篤史

「先生！逆上がりできたよ！」満面の笑みで顔を紅潮させながら興奮気味でそう伝えてきた女の子は、1年前までは鉄棒が大嫌いでした。遊んでいた時に鉄棒から落ちたことでトラウマになり、それ以来鉄棒にも触ろうとしませんでした。

私とその女の子と出会った時は、既に鉄棒なんて見るのも触るのも嫌という雰囲気を出してしていました。何を言っても鉄棒に近づこうともせず、お友だちが鉄棒をやっている姿を、ただつまらなさそうに眺めているだけでした。

そんな女の子が1年後に逆上がりができるようになるまでの過程はとてもシンプルで、怖い気持ちややりたくない気持ちを理解してあげ、鉄棒を触るのではなく、ただの棒を握ることや下をくぐることなど、鉄棒の要素を持つ遊びや興味付けをしながら、徐々に鉄棒を触ったり握ったり、ぶら下がったりできるようにしていきました。

大切なことは子どもたちの気持ちを理解し、できないことが良くないことではなく、どのように興味をもたせ、どのように取り組ませるか工夫し、やらせるのではなく自発的に自分からの動機付けで行動できる力を育めるかです。

また、自分からの動機付けで行動に移した際、必ず何かしらの変化があるはず。表情の微妙な変化や、動き始めるタイミング、発する言葉など、子どもによってさまざまですが、その心の変化を見逃さず、その瞬間に肯定的な言葉を掛けてあげる

ことで、子どもたちの可能性を何倍にも広げてあげることができるのです。

現代では目標を達成することそのものを重視する考えがありますが、幼児期に必要なことは、からだを動かすことに興味を持ち、単純な動きの繰り返しだけではなく、1つの運動のなかに2つの動作が入るような動きや、手と足で違う動きをする運動など、複雑な動きを考えさせながら行うことです。考えさせることで学ぶ力が身につく、多様な動きを習得することができるようになります。また、1つの運動中に同時にからだの違う部位を動かすことで、脳に刺激を与え集中力や思考力が高まり、さまざまな運動経験をすることでバランス感覚やリズム感、反応速度が養われ、日常生活や運動時におけるからだのバランスがよくなり、怪我の防止にも繋がります。

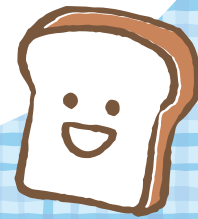
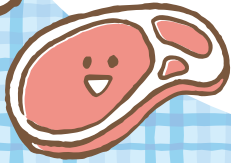
幼児期にとって遊びは最大の運動です。走ったり、ぶら下がったり、ボールを投げたり、縄を回したり、引っ張ったり、遊びのなかにはさまざまな運動の要素が含まれています。

私たち大人が子どもたちの遊びを想像し、子どもたちが自主的・自発的に遊べるように、環境を整えていくことが必要だと思います。

満面の笑みで楽しく遊ぶ子どもたちの心が、たくさん動くような未来にしていくことが、我々の使命なのではないでしょうか。



# 食育のつどい



## 葵幼稚園の食育の取り組み

認定こども園 葵幼稚園 成本 有香

令和7年11月4日(火)から28日(金)まで、アリオ蘇我で「誰かと一緒に食べることで食の楽しさや食につながる知識を習得…」と題してパネル展が行われました。

今年度は認定こども園葵幼稚園が食育の担当園となり「苗を植える→育てる→収穫する→クッキングを行い、みんなで楽しく食べる」の流れをパネルで紹介しました。

葵幼稚園には、田んぼや畑があり、田植えと稲刈りは年長が行いますが、じゃがいもやさつまいの収穫は全園児で行います。

手を真っ黒にして、一生懸命掘ったさつまいを家に持ち帰ったり、幼稚園で蒸かした芋を食

べたりします。クッキングでは学年ごとに作るものは異なりますが、スイートポテトやさつまいの茶巾絞り、さつまいサラダを作って、みんなで食べます。年長組は、稲刈りをしたお米をすり鉢で脱穀をして、玄米と白米を混ぜて、おにぎりを握って食べています。

春にはそらまめ、初夏にはじゃがいもの収穫、秋にはお米やさつまいの収穫とクッキングで、子どもたちの「食」に関する興味や関心を深めています。食べたことがないけれど「食べてみようか?」と誰かが食べると「ぼくもわたしも…」と集団の力が、大いに五感を刺激しあっています。



# 千葉県幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて

幼稚園協会加盟園80園の中から、今年も12園の幼稚園が、それぞれの園の特色を活かした保育を公開してくださいました。

保育者の専門性を高め、保育の質を向上させることを目的とした『公開保育』は、先生の数だけ保育の方法があって、専門書を読むより何より得るものがあります。「千葉市子どもたちを豊かに育むため」の研究会として、それぞれの園の良さを認め合い学び合うことを大切にしながら、これからも進めて参りたいと思っております。

穴川花園幼稚園 岡崎 桂子(研究委員長)

## 中央区 ひまわり幼稚園 大塚 杏奈

当日は、気持ちの良い秋晴れに恵まれたので、園庭朝礼から一日が始まりました。朝礼後は、いつも皆が楽しみにしている異年齢遊びをしました。

その後は、年少「お家ごっこ」、年中「わたあめ屋さんごっこ」、年長「食育活動」などの様子を見ていただきました。子どもたちは少し様子を伺いながらも、普段通り、のびのびと過ごしていました。来園された先生方もとても和やかでしたので、自然に挨拶する子どもたちの姿もあり、私たちも嬉しくなりました。

また、全体会・分科会では、貴重なご意見やご感想をたくさんいただき、感謝を申し上げます。温かいお言葉が多く、子どもたち一人ひとりを大切に思う気持ちは、皆同じであるということが伝わり、とても励みになりました。これからも、子どもたちにたっぷりの愛情を注ぎながら「良き言葉で良き保育を」を合言葉に、精進してまいりたいと思います。

今回は貴重な学びの機会をありがとうございました。



異年齢遊び(ボール運びリレー)

## 中央区 九重幼稚園 北原 千津子

秋晴れのなか、行われた教育研究会では、九重幼稚園の特色でありますピアジェ教材の実践、音感教育とバルシューレ(ドイツ発祥のボールスポーツ)をテーマにそれぞれのクラスで活動内容を考え実施いたしました。

当日は、来園された一人ひとりの先生方に温かく見守られて、子どもたちも緊張することなく普段通りの姿をお見せすることができました。分科会では、3学年共に子どもたちの話を聞く態度や活動内容に対し、寒川小学校の校長先生、ならびに諸先生方より高い評価をいただきました。職員一同、日頃の努力の成果を実感できる良い機会となり感謝いたします。これを励みに今後も、保育の質の向上に努めていきたいと思っております。



年少 バルシューレ

## 美浜区 認定こども園 敬愛短期大学附属幼稚園 和田 由美

晴天に恵まれた穏やかな天候のなか、39名の参観者をお迎えして教育研究会を開催することができました。遊びを大切にしている本園の保育をありのまま見ていただきましたが、子どもたちや職員はやや緊張もありました。そんななかでも室内では空き箱製作や編み物のマフラーづくり、ブロック遊び、発表会ごっこ、園庭ではリレーやなわとび、鬼ごっこなどで楽しそうに遊ぶ姿がたくさん見られました。参観された先生から「遊びが豊かですね」という嬉しいお言葉もいただきました。保育終了後の全体会では、本園の研究について説明をし、その後の学年ごとの協議では研究テーマ「思いやりのある子どもを育む」についていろいろなお意見をいただくことができました。貴重な学びの場をいただき感謝しております。今後もさらに研究を進めてより良い保育の実現に努めてまいります。



## 美浜区 認定こども園 真砂幼稚園 吉田 友美

今回の公開保育では、当園の教育の柱である「そだちあい」をテーマに掲げて、自然科学にかかわる活動を行いました。

活動の立案にあたって「幼児の学びは、幼児の生活から取り上げて、幼児の生活に返すことを大切にしたい」と考え、子どもたちが日常的に目にし、手にする事物や現象を教材として、「当たり前が、当たり前でなくなるように」留意しました。

上記のような「学習の生活化」においては、時間をかけて機会を重ね、対象に対する見方を深めさせることが大切です。各学年の取り組みも一学期から開始して、研究保育を一学期と公開保育当日の二回実施し、それぞれ保育者として有意義な学びができました。

また、今回の公開保育では、クラスごとに、同一活動における計画上の進度を変えたので、参観された先生方に子どもたちの学びを段階的にご覧いただくことと思います。参観終了後の分科会でも、子どもたちの学びの深まり方や、身近な自然にちなんだ学習活動を行うことの大切さについて、貴重な意見を交換することができました。



容器の外から鉄球を動かして不思議そう

## 美浜区 こざくら第二幼稚園 高宮 彩香

他園の先生方を迎えての公開保育でしたが、子どもたちは普段と変わらず、活動に楽しんで取り組んでいました。年少組は『線のワーク』を通して、クレヨンの持ち方や手先の使い方を丁寧に積み重ねている姿、年中組は『折り紙製作(ふくろう)』暗闇シアターの導入を通してフクロウの生態への興味・関心を高めると共に、イメージを広げて伸び伸びと表現する子どもたちの姿、年長組は『飴袋製作』七五三や飴袋の由来を知り理解を深めながら折鶴に挑戦していく姿を見ていただきました。

全体会・分科会協議会では、当園の保育方針についての説明、本日の保育の振り返りを行ったり、質疑応答を交えながら各園の保育内容や子どもたちとの関わりのなかで大切にしていること等情報共有させていただきました。

参加された先生方の温かいまなざしのなかで、子どもたちが日頃の姿を発揮できた、有意義な1日になりました。



年中組保育風景

## 稲毛区 愛隣幼稚園 新城 優子

お天気にも恵まれ、普段通りに、子どもたちが主体的に活動する姿をたくさん見ていただくことができました。今回の公開保育では、ECEQの手法を取り入れて準備を重ねてきました。

自園の良いところ、課題などを保育者間で話し合い、またコーディネーターの先生方に進行、話の論点の修正もしていただきながら準備を進めることができました。とても有意義で、これからの保育の財産となりました。

公開保育当日には、参観前にECEQについての説明も行い、保育中には「問い」(参観の視点)についてもたくさんのご意見を付箋に記入していただきました。午後からの分科会協議では、参観された皆様と、その「問い」を基に一緒に考え、それぞれの立場で意見交換をすることもできました。

公開保育を行ったことで、準備は大変だと思いましたが、終わってみたらとても大きな学び、励ましをいただけたことは、これからの保育の糧になりました。

ありがとうございました。

※ECEQ(イーセック)とは全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が開発した、公開保育を活用して幼稚園や認定こども園の教育・保育の質を高めるための日本独自のシステムです。



年長 かがやき組 にんじゃんぐるランドにて参観の様子



## 稲毛区 六川花園幼稚園 川口 智子

『変心・変身・大変進!』を研究テーマに、幼稚園みーんなで、たくさんのお客様をお迎えする準備をしてきました。子どもたちは、ご挨拶をしたり、園庭の遊具「わんぱーく」にお誘いしたり、とっても張り切っていました。

クラスでは、友だちと一緒に「苦手を楽しく!おいしくする為に!」研究所をオープンして、ドレッシング作りを行いました。おすすめ調味料から作られた、世界で一つのドレッシングで、苦手な野菜も残さず完食、大変心!!を遂げました。

4回目の公開保育を支えてくれた大ベテランと、緊張しながら頑張った初めての先生とそしてまだまだ大変進していく子どもたちと、充実した実りのある、秋の1日となりました。心より感謝申し上げます。



参観の先生方も、ドレッシングNo.1を投票

## 稲毛区 稲毛幼稚園 渡辺 菜

本園では、毎年この時期に行っている製作やお遊戯会に向けての練習の様子を参観していただきました。大勢の先生方が参観しているなかでも子どもたちは緊張することなく、普段通りの姿で過ごすことができているように思います。クラス毎に行った分科会では、製作やお遊戯、合奏練習の指導に対する温かいご意見やたくさんのご質問をいただき、大変有意義な時間となりました。また、自分の保育を他園の先生方に見ていただくことで、自分自身の保育を振り返り、意識を高めることができる良い機会にもなりました。参観された先生方からは、子どもたちが楽しそうに活動に参加している姿を評価していただきました。今後もその姿を大切に、今回の貴重な経験を活かしながら、より良い保育の実践に努めていきたいと思ひます。



合奏練習の様子

## 若葉区 千城台南幼稚園 宮原 直美

当日は天候に恵まれ、秋らしい気候のもと公開保育を行なうことができました。子どもたちは少し緊張している様子でしたが、すぐに慣れ、いつも通り元気に遊んだり活動に参加したりすることができていました。

分科会では、温かい感想や貴重な意見をいただいたり、同じ学年の担任としての悩み相談やアドバイスをいただいたりと、とても有意義な時間になりました。

この機会をもとに日々の保育を振り返り、今後もより良い保育を目指して精進していきたいと思ひます。参観された先生方、開催にあたりお力添えをいただいた幼稚園協会の皆様、お忙しいなかありがとうございました。



年中 はさみの練習

## 若葉区 認定こども園 へいわ幼稚園 主幹教諭 阿部 梨紗

公開保育では多くの先生方にお越しいただきました。着飾らず普段通りの保育を見ていただきたいという思いで準備や計画を進めてきましたが、当日は気持ちの良い秋晴れとなり、子どもたちはもちろん私たち職員も思いきり好きな遊びを子どもたちと楽しむことができ「やってみよう!」と動き出す子どもたちの姿が見られたことを嬉しく思ひます。

保育後の全体会では毎日職員室で行っている報告会をホールで行い、保育の様子だけでなく職員打合せで共通理解を大切にしているところまで見ていただきました。公開保育を通して保育を見直す良い機会を与えられ大切にしたいことを再確認することができ、参加された皆様からはたくさんの労いや励ましの声もいただき感謝です。若い先生方の自信にもつながり、公開園を担当して良かったと感じています。これからも子どもたちが遊びのなかで生きる力を育ていけるように、寄り添いながら日々を丁寧に積み重ねていきたいと思ひます。



学年を超えてドッジボール

当日はお天気にも恵まれ、穏やかな陽気のなかで公開保育を行うことができました。幼稚園協会役員の皆様や近隣小学校の校長先生、保育園の園長先生をはじめ、60名以上の先生方に日頃の保育をご覧いただく貴重な機会となりました。絵画や製作、リズム遊びでは園児一人ひとりが自分らしい表現を発揮し、緊張しながらも主体的に取り組む姿をご覧いただけたと思います。子どもたちの様子について温かい言葉も頂戴し、私たちにとって大きな励みとなりました。分科会の和やかな雰囲気の中、いただいた貴重なご意見を、今後の活動に活かしてまいります。公開保育を通して、保育の在り方や環境づくりを改めて考える機会となりました。皆様に心より感謝申し上げます。



体育館でのリズム遊びの様子

どんぐりが落ちる季節になり、足元で「ポリポリ」と響く音も心地よく感じられる頃、千葉市幼稚園協会の先生方にご参観いただきました。晴れ渡った空ともみじの色付きが広がる「かがみどの林」では、子どもたちが自然のなかを思い切り駆け回りながら、花や木、虫を見つけては立ち止まり「これは何だろう?」と夢中で観察する姿が見られます。そんなセンス・オブ・ワンダーを育ててきた保育や、一人ひとりの物語を大切にしてきた日々を今回の研修会で少しでも感じていただけたので嬉しく思います。これからも「わくわく登園・るるん降園」をモットーに、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、自然との関わりをより深めていきたいと思っております。ご協力してくださった皆様、ありがとうございました。



世界に1つのタペストリー作り

2026

# 幼稚園 & こども園フェア



## 7月26日(日) イオンモール幕張新都心にて開催決定!

幼稚園&こども園フェアは、未就園児の保護者様に千葉市の幼稚園やこども園について、知っていただくことをねらいに2018年より開催しています。2023年よりイオンモール幕張新都心に会場を移し、今回、4回目の開催となります。この会場は大型のショッピングモールで、約7,300台収容可能な大規模駐車場を併設しています。また、JR京葉線幕張豊砂駅に直結していることで毎年大勢の方にお越しいただいております。

2026年も千葉市の幼稚園やこども園を知っていただき、保護者様が楽しみながら園選びができるように、お子様が楽しめる時間になるように、実行委員一同で企画を進めております。詳細が決まりましたら千葉市幼稚園協会のHPや協会加盟園よりお知らせいたします。昨年度よりも更に良いイベントとなるよう、新企画も検討中です。どうぞ、お楽しみに!!



# 令和7年度 子育て大好き親子教室



千葉市幼稚園協会では子育て支援の一環として、各区の担当園で2～3歳児向けの親子教室を開催しております。今年度は各園に集まって、楽しい時間を過ごすことができました。

## 中央区 担当園：院内幼稚園

- 幼稚園で遊ぼう
- トンネルあそび
- マットすべり台
- ボールあそび
- おいかっこ

子どものペースで思いっきり走り回って遊びました。ケラケラと大笑いしながら楽しく、やりたいことをじっくりできました。



## 美浜区 担当園：幼保連携型認定こども園 しらぎく

「幼稚園ってどんなところ」

- 2歳児クラスの体操に参加しよう
- 園内見学

2歳児クラスの体操に参加し、かけっこやサーキット等、元気に体を動かしました。短い時間でしたが、園児たちの日々の活動を体験してもらい、楽しい時間を過ごしました。



## 稲毛区 担当園：認定こども園 あやめ台幼稚園

外遊びが難しい季節なので、室内でも体をたくさん動かして遊べるように、広いホールでいろいろな運動遊びを行いました。玉入れではボールを一生懸命探し、両手に持って運んだり、動物カード探しでは、保育者の指示した動物のカードを見つけて嬉しそうに走ったりする姿が見られました。マット・平均台・トンネルはサーキットのように配置し、繰り返し楽しめるようにしました。遊ぶうちに上手に体を動かせるようになり「できた！」と親子で喜ぶ姿がありました。始めは表情が硬い子もいましたが、終わる頃には笑顔が見られ「楽しかった」と言ってもらい、親子で楽しい時間を過ごすことができましたようです。



「はらぺこあおむし」の大型絵本の読み聞かせ

## 若葉区 担当園：やまびこ幼稚園

- 親子で楽しく夏まつり

6月末梅雨の時期でしたが、室内や園施設の森で夏祭りを実施しました。室内では魚つりや的あて、お面作りなどを楽しみ、森の中では自然物を集めて色水遊びをしました。子どもたちもママたちも、たくさんの笑顔が見られ楽しいイベントになりました。



魚つり



木の実や葉っぱで色水あそび

## 緑区 担当園：認定こども園 あすみ中央幼稚園

ホールでサーキット遊びを行いました。親子で手をつなぎながら一本橋を渡ったり、手をはなして挑戦したりする姿が見られました。次にタヌキのでんでん太鼓を作りました。みんな楽しそうに音を鳴らしていました！



サーキットあそび



でんでん太鼓作り



# 給食だいすき



株式会社幼稚園給食 取締役副社長 島瀬 悠基

幼児期は、心も体もぐんぐん成長する大切な時期です。骨や筋肉を作るたんぱく質、頭と身体を動かすエネルギーになる炭水化物、風邪をひきにくい体をつくるビタミン、体の調子を整えるミネラル。どれか一つでもかけてしまうと、子どもたちの力が十分に発揮されません。ですから給食では、いろいろな食材を使い、栄養のバランスがしっかり考えられていることが大切です。

しかし、子どもたちの中には、野菜が苦手な子、見たことのない食材にドキドキする子もいます。そこで、見た目や味付けなど、おいしく感じやすい調理法を工夫しています。苦手な野菜はなるべく細かく切ってみたり、スープに入れてやわらかくしたり、味にくせのある食材はなじみ深い強い味のものと組み合わせたり。少しでも食べてみるきっかけとなればうれしいです。

給食は、ただお腹を満たすだけではありません。「これは何?」「どんな味かな?」という小さな好奇心を引き出すことは、食への興味につながります。「知ること」が「食べる勇気」につながり、少しずつ好きなものが増えていききっかけになります。

また、みんなと同じものを一緒に食べると「食べるって楽しい!」という気持ちが育ちます。友だちと「これ食べられたよ」「おいしいね」と笑い合う姿は、給食が心を育てている証なのではないでしょうか。

給食は、多くの人の思いが繋がってできています。食材を育ててくれる人、運んでくれる人、毎日心をこめて調理してくれる人、そして見守ってくれる先生方。その一つひとつが重なって、一食の給食が生まれています。子どもたちがその背景に気づき、「ありがとう」の気持ちをもてるようになることも、大切な成果です。みんなと一緒に培った「食べ物を大切に作る心」を、これからの人生においてもずっと忘れないでほしいと願っています。

私どもは、給食が子どもたちの体を作り、心を育てると信じています。「食べる力」は、生きる力。苦手なものに挑戦できたことも、友だちと笑いながら食べられた時間も、未来へとつながるかけがえのない経験です。そんな瞬間にそっと寄り添い支えられることが、この仕事の大きな喜びです。これからも、子どもたちがワクワクしながら献立表をのぞいてくれますように…おいしさ学びにあふれた給食を届け続けたいと思います。





勝っても負けてもさあ！いこう！

穴川花園幼稚園 志賀 日向子

初めて担任になり、年長のクラスを受け持つことになりました。  
1番が好きな子、ドキドキ緊張やさん、思い通りにいかないと涙が出てしまう子などなど…  
かわいい子どもたちに囲まれながら、慌たしい毎日です。

私は走るのが大好きなので、子どもたちと一緒に戸外で鬼ごっこをして遊んでいます。毎日子どもたちと遊んでいると、いつか「運動会のリレーで1位になりたい!」という目標ができました。リレーの練習が始まると、勝った時には思いきり喜び、負けた時は泣いてしまう子もいました。そんな時「悔しかったね」とそっと声をかけてあげる姿や「もっと練習しよう!」と手を繋いで一緒に走る姿も見られました。行事を通して、友だちを思いやり、寄り添う気持ちが育ったことを感じる事ができました。残念ながらクラス対抗リレーで1位を取ることはできませんでしたが、クラスの団結力がグーンと高まりました。いよいよ小学校です。この気持ちを大切にクラス一丸となって進んでいきたいと思います。さあ！いこう！



私の好きな絵本

「エルマーのぼうけん」

作：ルース・スタイルス・ガネット  
出版社：福音館書店

エルマーがリュックに詰めた、チューインガムやリボン、キャンディーなどを、上手に使いながら冒険するストーリーに入り込んで、一緒に楽しめるこの絵本は、子どもの時から大人になった今でも大好きな絵本です。

本当のクリスマス伝えるために

認定こども園 のぞみ幼稚園 田村 愛子

この原稿を書いている12月上旬は、クリスマスを待つ「アドベント」の時期です。クリスマスといえば、巷では華やかな雰囲気は先行しがちですが、本来は神さまがイエスさまを贈ってくださり、イエスさまが誕生したことをお祝いするのがクリスマスの大切な意味だと考えています。本園では、その「本当のクリスマス」をまだ知らない方々にも伝えたいという思いから、年中・年長児によるページェント（降誕劇）を行っています。



ページェントの準備を始めた頃、子どもたちのなかには「できるかな」と不安を口にする子どももいましたが、衣装を見たり、試しにさまざまな役を演じてみたりするうちに、一人ひとりが「やってみよう」という役に出会いました。今ではみんなが同じ目標に向かって、心を込めて練習に取り組んでいます。クリスマスウィークには、保護者を招いて、子どもたちの言葉と姿でクリスマスの出来事を伝えたいと張り切り、楽しみにしています。

私の好きな絵本

「ずっとそばに・・・」

作：いもようこ  
出版社：岩崎書店

熊の被害が増える昨年、人間の命を守る対策と同時に、背景にも目を向けたいと、毎年秋に手にとる一冊です。物事を多面的に見る姿勢を子どもたちに伝えながら、大人にも立ち止まって考える視点をくれます。

ヤギとの触れ合い

こざくら幼稚園 伊藤 千秋

こざくら幼稚園は広い敷地の中に建っている幼稚園です。動物もウサギや陸ガメ、インコや熱帯魚といろいろ飼っていますが、一番の特色は2頭の白と黒のヤギたちです。白ヤギは2代目、黒ヤギは3代目です。広い敷地に生える草を食べ、子どもたちとも仲良くなるとよいと考えて飼いはじめました。ミニヤギのはずが、どんどん大きくなりました。獣医さん曰く「犬よりお利口ですよ」と言われた通りに名前を呼ぶと「メー」と答えます。子どもたちが園庭で遊んでいると崖を駆け上がり葉っぱをもらいます。特に満3歳児や年少組の子どもたちに大人気です。



先代のヤギが死んだときには集会を開き子どもたちも「一緒に遊んでくれてありがとう」や「天国から見ていてくれるかな」等の声を聞くことができました。生命の大切さを感じながら一緒に過ごしていきたいと思っています。

私の好きな絵本

「100万回生きたねこ」

作：佐野洋子  
出版社：講談社

大人になってから出会った絵本です。

主人公の猫は、いつも誰かの飼い猫で飼い主たちは猫を愛していましたが猫は自分しか愛していません。その猫が初めて愛を知り、愛を育て死に向かい合います。読む度に最後は涙がこぼれます。

# 千葉市幼稚園協会からお知らせ



## あなたの就職を応援します!



厚生労働大臣許可番号：12-コ-300646

- 幼稚園教諭、保育士の資格をお持ちの方や資格取得見込みの方
- 子育て支援員として認定された方
- 上記以外の職種（栄養士、事務員、バスの運転手等）の方
- 子育てを終えて職場復帰を希望されている方

幼稚園・認定こども園で働きたい方や再就職を考えている方は、ぜひ、千葉市幼稚園協会HPの求職登録フォームよりご登録ください。資格をお持ちでない方もご相談ください。

千葉市幼稚園協会

検索



協会ホームページはこちらから



公式X(旧Twitter)フォローお願いします  
(@youchien\_chiba)



### 訃報

ひばり幼稚園 前理事長・園長

布施 潤子 様

令和7年12月14日ご逝去

謹んでお悔やみ申し上げます

### 編集後記

ともだちのわ150号をお届けいたします。2025年度の協会活動も多くの皆さまに支えられて、無事終わりますことを感謝いたします。

我が(公社)千葉市幼稚園協会は、昭和30年に発足して以来「千葉市の幼児教育は私立幼稚園が担う」との強い覚悟の元に今日までその責任を全うして参りました。幼児人口の多い園児獲得の時代を経て、現在は少子化の厳しい時代となりました。しかし、このような時こそ「幼児教育の質の向上」を図る時と考え、各園が努力を重ねております。

保護者の皆さま、市民の皆さまには、この広報誌を通じて少しでも私立幼稚園、幼児教育の様子を知っていただき、ご支援いただければ幸いです。どうぞご意見等もお寄せください。今回、原稿をお書きくださいました方々、ありがとうございました。新年度も良き年となりますように、そして子どもたちが自分らしく豊かに成長していきますように祈っています。

認定こども園 のぞみ幼稚園 安田 重実